

学校利用

足寄小学校 たくさんの「化石新聞」発刊

足寄小学校4年生のみなさんが、9月に博物館を見学しました。そのまとめとして、一人ひとりが編集長兼発行人となり、多数の「化石新聞」が発刊されました。紙名は自由に設定されたようで、ユニークなものもありました。

デスモスチルスやクジラの写真を配置したり、文章を全面に書き込んで感想を表現したり、イラストがあったり、さらに恐竜絶滅の新説もあり、など様々な工夫がみられます・・・ **冬休みに展示します**

・・・次ページ参照。



たくさんの「化石新聞」—デスモスチルスの前で

スタッフあてに手紙もいただきました。ミニ発掘やレプリカづくりが楽しかったというなかに、寒さに負けず！という励ましもありました。ありがとうございます。重大情報も・・・、
どうやら、足寄小のなかに「化石会社」ができたようです。発掘もありとのこと。博物館と共同か 競争か？

発刊された新聞の名前

化石新聞	26
化石	6
化石のひみつ	6
博物館新聞	1
博物館見学新聞	1
化石博物館	1
きょうりゅうはかせ新聞	1
足寄新聞化石版	1

魚類駆除 試行錯誤つづく

湯の滝に生息する有害外来魚の駆除作業を、10月30日、建設課車両室の協力、阿寒自然保護官事務所からの参加を得て、実施しました。

駆除数は、総数で15,000匹（ティラピア513匹、グッピー14,600匹）。その特徴は、**ティラピア**は、数は減ったものの**大型化**（25cm超 9匹）、**グッピー**は、数の**極度の増加**（ティラピアが減った影響か）、とまとめることができます。

昨年は、池の駆除作業の後、堰（せき）をつくって、下流からの侵入を防ぐ、という対策をとりました。しかし、侵入は防げず、結果的に、水位を上げることとなり、魚類の生活環境を広げてしまったようです。堰づくりが裏目にでたことになりました。改めて方針を練り直すことにしています。



←大型ポンプで水位を下げて駆除作業



口のなかで→卵を保護するティラピア

来館者

デスモスチルスの化石の比較にテキサスの研究者

米国テキサス州南メソジスト大学の L. Jacobs 教授が来館しました。ジェイコブスさんは、アリューシャン列島で見つかったデスモスチルスやクジラの化石をアショロアなど足寄の標本と比較するのが目的です。1月には、再度1週間ほど滞在して詳しい研究をしたいとのこと。



休館日 || 12月 休館日：1日 8日 15日 22日 29日～

博物館の動き 12月 (館の行事や職員の動き, 来館団体, など)

2日 上浦幌中央小学校

22日～ 犬塚則久博士
28日 束柱類の研究で滞在

足寄小学校のご厚意により

足寄小学校4年生発行
化石新聞 特別展示

12月19日(土)～1月17日(日)
足寄動物化石博物館ロビー